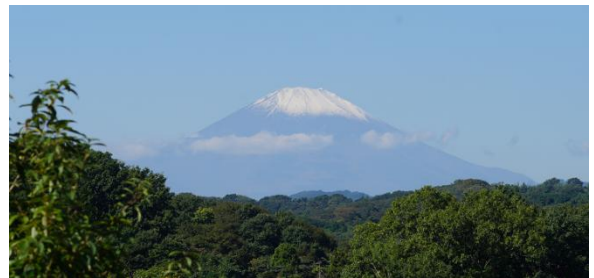


＜初冠雪＞今年の富士は雪解けが早かった上に白くなるのも遅いかなと思っていたのですが 12 日の朝には青空の下に輝く頂を見せました。平年より 2 週間ほど遅いものの昨年よりは 1 週間近く早い初冠雪です。雪を頂く富士の姿は毎年ながら待ち遠しいものです。ところで初冠雪記録(甲府地方気象台)は年により 2 ヶ月ほどの開きがあるものの均(なら)せば過去 120 年ほどの間に約 5 日遅くなったように見えます。



ところで、富士は古くからの和歌は無論のこと俳句にも数多く登場します。この初冠雪の時期に相応しいものはないかと調べているうちに「達磨忌や箒で書きし不二の山(一茶)」を目にしました。昔の人にはこのようなこと[だるまさんの命日(10月5日)に行われる曹洞宗の法要]も年中行事の一つになっていたのですね。



＜イチョウの黄葉と下弦の月＞



＜ニシキギの実＞

＜秋色＞並木の”イチョウ”が黄に色づいてきました。写真の黄葉とまだ緑の葉の向こうに見えるのはスーパームーンから 10 日目の下弦の月です。カエデやハゼの紅葉はまだ先ですが”ニシキギ”は実も葉も色づいていま



＜オケラ＞

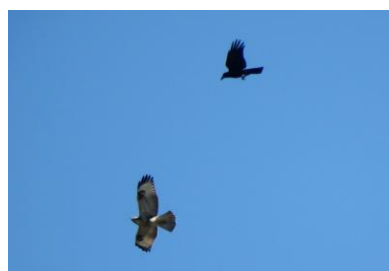


＜コシオガマ＞

す。雑木林の縁辺には”オケラ”の白い花が咲き出し、日当たりのよい斜面には”コシオガマ”が大きな株となって少し紫がかったピンクの花を沢山付けています。

＜ウラギンシジミ♂＞

秋色に染まるにはまだ少し早い林ではセミを始め夏の虫の多くが姿を消しました。一方、チョウたちはまだまだ元気です。とりわけ風のない晴れた昼下がりには高い梢から道端にまでアゲハなどいろんなチョウが見られます。クズの間を飛び回るのは”ウラギンシジミ”です。やや大型のシジミで裏は銀一色、表には大きな橙色の模様が目立ちます。



＜空中戦＞晴れた日の昼下がりには雑木林の上空でトビとカラスの戦いが見られました。トビは翼開長が 1.5 m ほどあり、カラスはその 2/3 ほどの大きさしかありません。しかし執拗に攻撃を加えているのはカラスの方です。トビの捕った獲物を横取りしたりするようですね。

(文と写真：松本正勝)